

—— 八十嶋洋子プレゼンツ ——

# 第4回 クララの室内楽



ゲスト

萩原 茂

(現代文学研究家、演劇作品「マリン」演出家)



八十嶋 洋子 (ピアノ)

アソシエイト 永岡 健石 (ピアノ・チェロ・ヴィオラ)

私は自分勝手に楽器を取って弾き鳴らすような気持ちで作っている…  
私の詩は私の全人格が踊っている声の線、ひびきの集りの積りである… (晶子)

## 『パリの晶子、愛の確認……そして音楽』

出演 萩原 茂

演奏 曲目

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 『ロマンス』         | ＜クララ・シューマン＞ |
| 『飯前』           | ＜ドビュッシー＞    |
| 『主題と変奏』        | ＜シャミナード＞    |
| 『エタイト・ピアノを讀んで』 | ＜プーランク＞     |
| 『リウの花』         | ＜ラフマニノフ＞    |

——そして、萩原氏の創作詩と、シャンソンを数曲——

2016年 10月2日(日) 開演15:00 (開場14:30) ヤマハ銀座スタジオ

料金 一般 ¥4,000 / 学生 ¥3,000 定員 112名 全席自由 受付 9時～18時 (受付終了後入場はできません)

チケットの申し込み ヤマハ銀座店 5階 ピアノ売場 TEL 03-3572-3132

会場 ヤマハ銀座店 TEL 03-3572-3132、スタジオ・アール TEL 03-5730-4305 協賛/日本アール協会 協力/文化芸術振興センター

ロマン派の大作曲家ロベルト・シューマンとピアノ奏者・作曲家でもあったクララは、夫唱婦隨の音楽家でした。子煩悩な夫と、愛すべき子供たち・音楽に開かれてきた夫婦も、夫ロベルトの死によって別れが訪れます。ドイツ屈指のピアノ奏者、そして当時としては珍しい女性作曲家として、クララは悲しみのどん底から動き出します。クララを目指してきた八十嶋洋子はそんなクララに似て、チェリストだった夫の意志の継承と新たに歩む音楽の道標として、室内楽の素晴らしい、女性ならではの繊細な視点、至近演奏の臨場感など、室内楽の持つ醍醐味をシリーズ全8回で展開して参ります。『シューマンとクララ、シューマン家の音楽会』、『クララとの結婚で湧き上がる愛の交感、シューマン珠玉の歌曲集』、『ブ람ス、クララと赤ん坊の音楽の人生』と好評を頂戴しました。待望の今回は、ロベルトとクララの夫婦の影にも重なる、『鉄粉と晶子』に迫ります。シベリア鉄道でパリへ向かう晶子とウラジスラフで見送ったのは、当時朝日新聞社特派員として駐在していた八十嶋金村(八十嶋洋子義祖父)でした。その時八十嶋が晶子から贈られた八首の歌には、日本に残してきた子供たちへの想い、そして間もなく会える鉄粉への恋心が溢れていました。



1911年(明治44年)11月、学園野寛(鉄粉)は、単身フランスに渡り、パリに下宿。一人残された晶子は寛への恋意を歌や詩に詠みます。翌年、寛のたつての希望により晶子はなんと七人の子供を残し、パリへ、高鳴る心で“恋人”寛と再会します。そんな熱愛の二人がいざパリで暮らしてみると… (萩原茂)

萩原 茂 (現代文学研究家、演劇作品「マリン」演出家)

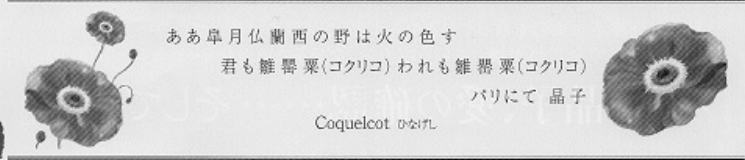
東京都生まれ、早稲田大学第一文学部卒業、同大学専攻科修了。卒論のテーマは『太宰治論』。現代文学専攻、日本私学教育研究所国語科専門委員を長く務める。現在、青竹女子中学校高等科教員。長年におわり、中央競馬場の文学者たちを研究。区立図書館や生涯学習センターなどで講演を行ったり、文学者の講演会を企画。また、学園野寛子十人では発掘調査として、遺稿調査を行い、現住所を特定し、主な著作「石川への旅日記」の出版を支援した。『何処に今』(上野アキラ)(共著)、『太宰治と我』(共著)など、著作多数。執筆歴では文学批評家兼評論家、随筆『新在野のこころ』、『学園野寛子十人』、『太宰治 青春の終焉—無名の若者は最後作家になった—』、『文学教育を考える—巻頭』(共著)など多数。自ら執筆している。



八十嶋 洋子 (ピアノ)

東京都生まれ、東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノのグロブハルト、ドヘンスタット氏に、室内楽のライオンハイマー氏に師事。在学中プロフェッショナルなレベルのコンクールで準賞とエリスを獲得。ベルリンのロイヤルアカデミー・オブ・ミュージックの正式メンバーとして数々の公演に出演。1989年ベルリン・フンデルタール音楽院室内楽科にて八十嶋麗三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の演奏を続け、ドイツ各地で演奏活動も続けた。大学在学中の永年におわり、日本を代表する作曲家、平月兼三郎氏に師事。多くの日本楽団の初演、ピアノでNHK交響楽団に出演。現在ではアノリをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の後、四谷さん研究センターまで、病院、施設での音楽会企画も積極的に取り組んでいる。これまでに、丸山裕子、林美奈子、松崎三三、永井正、岡村喜、の各氏に師事。吉祥女子中学校高等科教員も経験。また、スタジオ・アール、チェロアンサンブルの「ゴッホの会」を主催し、足利美術館で「ベルリッパル」展の「オスチノ」の展覧会にピアノと現在の「12人」の協力を得て夫の遺意を継ぎ、チェロ奏者の奏しを促している。

永岡健石先生にはコンサートを実施するにあたり、お力添えを頂きました。



今後のお知らせ  
第5回2017年4月16日(日)『ベートーヴェンともう一人の不滅の恋人……テレゼ』  
ゲスト 西原稔(音楽学者)



お問合せ・お申込み  
ヤマハ銀座店 5階 ピアノ売場  
TEL 03-3572-3132  
FAX 03-3574-7986



〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目4  
(営業時間) 11:00～19:30 (日曜日/毎月第2土曜日)  
http://www.yamahamusic.jp/shop/ginza  
写真:ヤマハ銀座スタジオ